

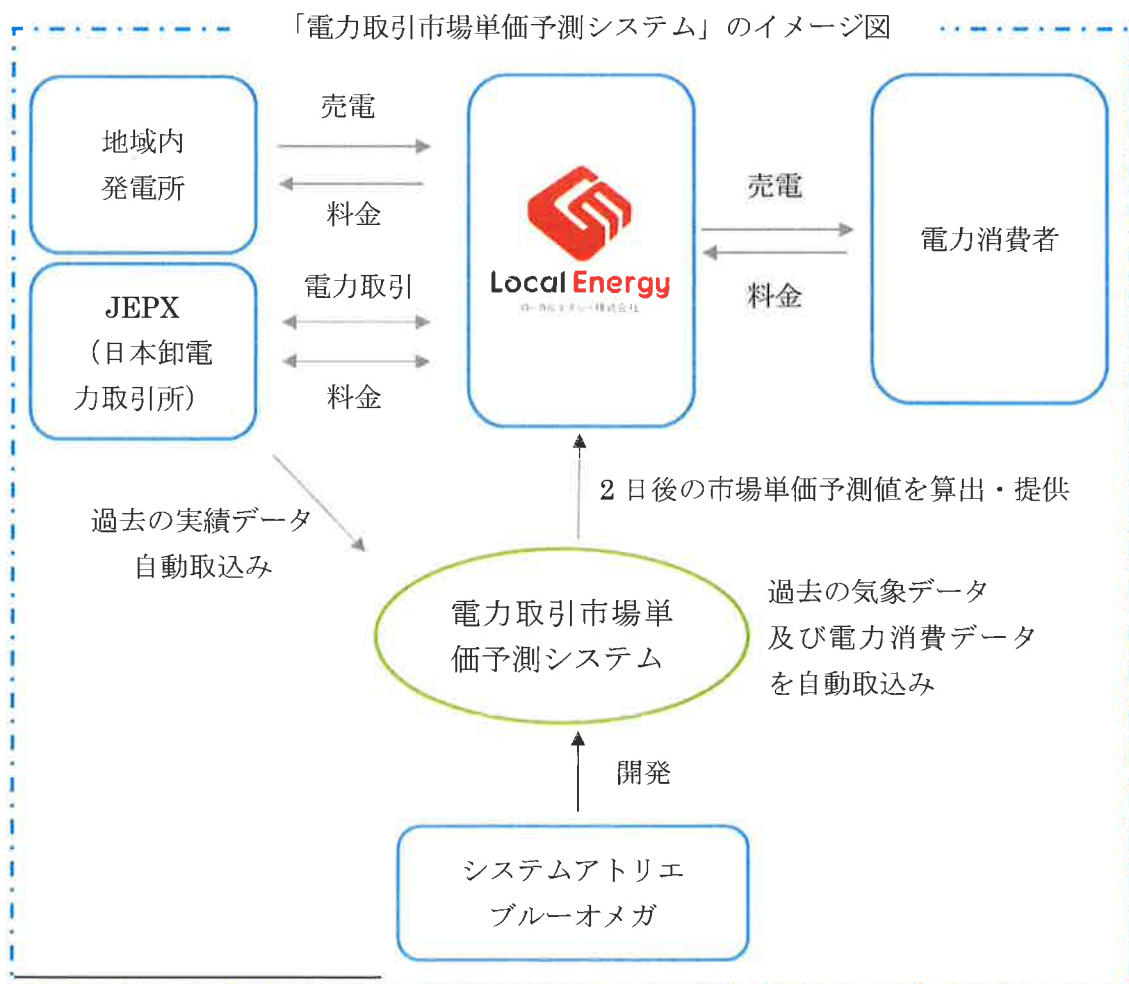
各 位

会 社 名 ローカルエナジー株式会社
 代表者名 代表取締役 加藤 典裕
 問合せ先 常務取締役 森 真樹
 電話番号 0859-57-5415



山陰企業初、A I（機械学習）を用いた 「電力取引市場単価予測システム」の運用開始について

平成 30 年 6 月 26 日、ローカルエナジー株式会社（鳥取県米子市）とシステムアトリエブルーオメガ（島根県松江市）は、A I（機械学習）を利用し、変動幅の大きい日本卸電力取引所のスポット約定単価について、より実績値に近い予測値を導き出す「電力取引市場単価予測システム」を共同開発し、商用運用を開始します。



事業の概要と背景

本事業は、日々価格が変動する日本卸電力取引所（JEPX）の1つであるスポット市場の単価（円/kWh）について、AI（機械学習）を用いた市場単価予測システムにより価格の予測値を導き出すことで、入札単価の価格設定作業を容易に行うものです。過去の「市場単価実績データ」及び「気象データ」、「電力消費データ」を機械学習させ、2日後の気温データを自動的に読み込むことで、2日後のスポット市場単価の予測をします。

電力スポット市場とは、日本卸電力取引所が扱う電力取引の中で最も活発な市場である一方で、変動幅の大きい未成熟な市場でもあります。スポット市場の単価は、「シングルプライスオークション」という価格決定方式によって、1コマ（30分）につき1つ（円/kWh）の約定価格で売買が成立します。言い換えると、約定価格よりも高い売札や安い買札は取引不成立となり、電力の調達不足、又は調達過多になるリスクがあります。

従来、上記のリスクを回避するため、各小売電気事業者は、人的予測により、買札の場合は高めに、売札の場合は低めに入札価格を設定することが一般的でした。加えて、この運用方法は、電力取引市場の価格低廉化を妨げ、調達コストを高止まりさせ、電力消費者へのサービス向上を阻害してきました。

しかしながら、本システムの開発を通して、市場単価（約定価格）の実績値に近い予測値を導き出すことに成功しました。つまり、小売電気事業者が、本システムを採用することで、電力の調達不足や調達過多を防止するリスクヘッジとなります。さらに、これまで、人の経験と勘に依存していた作業をシステム化し、コスト削減やリスク低減に加えて作業負荷の軽減や作業品質の統一をはかることもできるようになります。加えて、本システムを利用することで、需要・供給曲線により決定される市場単価（約定価格）を最適化し、電力取引市場の発展へと繋げることが期待できます。

当社は、山陰地方の企業ではじめて、AI（機械学習）を用いた「電力取引市場単価予測システム」の運用を開始するとともに、今後はこのシステムを全国の小売電気事業者へ水平展開していくことも視野に入れていきます。

各社の役割・目的

■ローカルエナジー株式会社 (<http://www.lenec.co.jp/>)

「エネルギーの地産地消による新たな地域経済基盤の創出」を企業理念とした地域エネルギー企業（小売電気事業者）として、A I（機械学習）の活用により電力調達の最適化を図り、再生可能エネルギーを中心とした電気を地域内の公共施設に電力供給します。

■システムアトリエブルーオメガ (<http://blueomega.jp>)

島根県松江市を拠点とし、A I ソリューションやW e bアプリケーションなどを提供しているスタートアップであり、本事業では、A I（機械学習）を用いた「電力取引市場単価予測システム」の開発を担当しました。

<報道関係者からの問い合わせ先>

ローカルエナジー株式会社

Tel : 0859-57-5415 E-mail : localenergy@lenec.co.jp

システムアトリエブルーオメガ

Tel : 090-1738-0466 E-mail : shinobu@blueomega.jp